

金城学院幼稚園

2021年

こどもニュース

4.16 発行

No. 2



新しい年度が始まりました。今年は春の訪れが早く、園庭では例年5月に咲く藤の花が満開近くなっています。

お子様のご進級・ご入園おめでとうございます。

始業礼拝後、2日間の年中長児の保育を行いました。「ついに年長さんになった！」となんとも誇らしげな年長さんが大きくなった喜びを身体中で表現し思いっきり走ったり、年中さんが「もう小さくないよ」とばかりにお友達とあちらこちらのクラスをのぞいたりしている姿が見られました。

そして無事入園式を迎えた年少さんは、いよいよ初めての「社会生活」が始まりました。エントランスでは、「何が何だかわからない」うちに「いってきまあす」とおうちのかたと別れたり、坂の途中まで元気に来たのに「やっぱりいやだー」と泣いたり。毎日様々なドラマが繰り広げられています。これはしばらく続く光景でしょう。

それでも去年は、新型コロナウイルスの影響で新学期を含め2か月休園しており、これらの姿を見られなかったことを思うと、こども達のどんな姿もいとおしく、日常の保育ができることに感謝しています。

保護者会でもお話させていただきましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響が予想され、私たちは長く不安定な状況に身を置くことになるでしょう。感染状況により保育の内容や行事の変更を余儀なくされるかもしれません。それでも園だよりに載せました年主題の「共に喜ぶ～すべての歩みの中で～」を心にとめ、どのような場面も喜びにつながる歩み(過程)であることを忘れずにいたいと思います。

こどもたちの成長を分かち合い喜び合うために園ではこの「こどもニュース」を発行しています。こどもたちの遊びの様子、保育者の思いなど「幼稚園の今!」を載せ随時発行していきます。どうぞよろしく願いいたします。

児玉芽  ♪

キリスト教のこの言葉ってなあに??



その1. 「おいのり」ってなあに?

「かみさまとお話すること」です。

神さまは目には見えないので目を閉じ、手では触れることができないので手を組みます。そして「かみさま」と声をかけると神さまはその言葉を聞いてくださいます。嬉しいことも、悲しいことも、お友だちのことも、病気のことも神さまにお話して聞いていただくことです。「ありがとう」と感謝のお祈りをすることもあります。

「アーメン」

この言葉はお祈りの最後に言う言葉です。ヘブライ語で「真実に」「確かに」という意味があります。「今お祈りしたことは本当です」「まったくそのとおりです」とみんなで心を合わせて言うものです。

幼稚園では、食事の前と降園前のクラスの集まりの中、そして水曜日の礼拝の中でお祈りをしています。しかし、「神さまにお話ししたいな」と思ったら、いつでもどこでもどんな時でもできる。それが「お祈り」です。



その2. 「けんきん」ってなあに?



神さまの恵みに感謝して、私たちの気持ちをあらわして献げるものです。

「今日はとってもいいお天気だったね。神さま太陽を造ってくださってありがとう」

「きれいな花を咲かせてくれてありがとう」

「おいしい食べ物をありがとう」

「友だちをありがとう」

「おとうさん、おかあさんをありがとう」

「私を造ってくださってありがとう」



たくさんの「ありがとう」を一つひとつ数えて、それを献金という形であらわし、広い世界の中で苦しんでいる人々の為にお役に立てたら…と考えます。金額ではなく、喜んで献げる気持ち、心を込めて神さまのご用の為に使っていただくという気持ちが子ども達の心の中にも育ってほしいと願っています。

幼稚園のこの言葉ってなあに？

アンケートってなあに？

主に行事などの後に、おうちの方々にご協力いただくものです。私達は様々なご意見をもとに保育がさらに良い方向へ向かって行くように話し合い、より豊かな園生活をつくり上げていきたいと思っています。その時々感じたことや気付いたことなど、何でもお書きください。後日、『こどもニュース』にて、アンケートの文章を少し取り上げさせていただきます。様々な感想や考え方をみんなで共有していきましょう。お一人お一人の貴重な感想をお待ちしています。

また、『その他』の欄には、園生活に対しての質問など、行事にこだわらずにお書きくださって結構です。

年11月のこどもは
こども風たはたわ
大きくなるとなわ

あつふことが楽しかったわ
こどもも行事までの月明に
あつ嬉しかったわ

これからこども風に
大きくなるといから
楽しみたわ

